

一関工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	第二外国語Ⅰ（中国語Ⅰ）	
科目基礎情報							
科目番号	0012			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	一般科目			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	本間 史等「中国語ポイント4 2」（白水社） ブログレッシブ中国語辞書（コンパクト版）小学館						
担当教員	陳 茜						
到達目標							
授業の目標するのは次の3つ、すなわち 1. 学生に中国語の正しい発音と正確な漢字の書き方を身に付けてもらうこと。 2. 初歩的な中国語文法を習い、練習を通じて、簡単な中国語会話ができるような基礎力を養うこと。 3. 学生に中国文化や習慣や中国と日本の相違点などを理解し、中国を知ってもらうこと。 中国語の発音をしっかりと習得し、基本文法を修得する、国際性を身に付ける、異文化を知る、中国語でコミュニケーションできる楽しさを感じるよう目指す。 【教育目標】A・B							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	本講義は国際的視野で社会に貢献できる技術者の育成ため、第二外国語として簡単な日常会話ができ、言葉の背景となる中国の文化への関心が広がる。具体的に中国語の発音を練習し、中国語の基礎的な文法を習得できるよう目標とする。本講義は半年を通して、週1回の頻度でごく簡単な日常中国語の習得を目指す。						
授業の進め方・方法	以上の目標達成のため、まず最初は、四週間で主に正しい中国語の発音を集中的に学び、学生諸君に発音の練習を繰り返してさせ、正確な発音をマスターする。土台がしっかり作って、中国語の語彙や文法などの学習に入る。中国語の発音（ピンイン）を自主的に正しく発音できるようにするために毎回の授業中でピンインの練習は不可欠である。中国語の基本文法と基本文型を学びながら中国語会話や日本語を中国語に訳などをできるようにする。講義と演習形式。コミュニケーションの能力を身につけるため、パタン練習、ヒアリング、会話などを総合的に行う。						
注意点	【事前学習】毎回到教科書の内容を復習することと予習しておくこと。また、この授業では辞書が必要なので、各自に準備してください。 【評価方法・評価基準】試験結果(40%)で評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。学習内容の理解に関して自己レポートを提出すること（30%）及び出席率等（30%）も評価の対象になる。総合で成績60点以上を単位修得とする。初級中国語授業との一貫性、連続性に留意ください。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	中国について		中国その国の概要が了解できる		
		2週	中国語について		中国語の特徴が了解できる		
		3週	発音の練習		中国語の発音が了解できる		
		4週	発音の練習		中国語の発音が了解できる		
		5週	発音の練習		中国語の発音が了解できる		
		6週	発音の練習		中国語の発音が了解できる		
		7週	第1課 判断動詞の表現		中国語の判断動詞の使い方が理解できる		
		8週	第2課 動詞の表現		中国語の動詞の使い方が理解できる		
	4thQ	9週	第3課 形容詞の表現		中国語の形容詞の使い方が理解できる		
		10週	第4課 場所の表現		中国語の場所の表現の使い方が理解できる		
		11週	第5課 数量詞の表現		中国語の数量詞の使い方が理解できる		
		12週	第6課 存在の表現		中国語の存在の使い方が理解できる		
		13週	学習内容の確認				
		14週	学習内容のまとめ				
		15週	テスト				
		16週	テストの解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	30	0	30	0	0	100
基礎的能力	40	30	0	30	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0